

南阿蘇村ネイチャーポジティブ宣言

～豊かな自然を次世代へ、「南阿蘇村モデル」の構築～

南阿蘇村には、阿蘇五岳のふもとに広がる大きな「草原」と、大地が磨き上げた「名水」という、世界に誇れる宝物があります。また、名水を育む豊かな「山林」、そこから広がる肥沃な「農地」。これらはすべてが一つに繋がり、長年にわたって野焼きや放牧、山林の管理や田畑の耕作を続けてきた先人たちが、自然と向き合い、汗を流しながら大切に守り伝えてきた「私たちの暮らしそのもの」です。

しかし今、山林や田畑を守る担い手が減り、人の手が入らなくなった場所が荒れてしまう危機に直面しています。これまでの「守る」努力だけでは、この宝物を子どもや孫たちの代へ残していくことが難しくなっています。私たちは今、自然が失われるのを止めるだけでなく、もう一歩踏み出して「もっと豊かな自然へ、みんなで育てていく（ネイチャーポジティブ）」という、新しい挑戦を始めます。

私たちは、自然が豊かになることで、地域の暮らしや農業、経済も一緒に元気になっていく「南阿蘇村モデル」を合言葉に、次の「5つの柱」に沿って行動します。

【未来へつなぐ5つの柱】

1. 草原の命を育み、未来へつなぐ

あか牛の放牧や野焼きといった草原を守る仕事をみんなで支え、山が荒れ果ててしまうのを防ぎます。ここに、生き物の種類や土の特徴など「自然の状態」を正確に記録し、科学的に分析する最新の技術を加え、経験だけに頼らない確かな方法で、次世代のための生き生きとした草原の育成や活用を進めます。

2. 命の源である「水」を守り、暮らしを支える

湧水の源である草原や森を大切に手入れし、豊かな保水力と水質を浄化する自然の力を守ります。また、水田などの農地を「生き物のゆりかご」として適切に管理することで作物生産の持続性を高めて、災害に強く、地球環境にもやさしい村づくりに貢献します。

3. 自然の恵みを活かして、潤いのある村をつくる

阿蘇の景色や水を活かした新しい仕事を生み出し、その利益を自然を守る活動に役立てる「自然をもとに地域が元気になる」仕組みを作ります。村にやってくる企業とも協力し、土地を使うときには「自然との共生」という考え方を大切にします。

4. 阿蘇を想う暮らしを選び、共感の輪を広げる

「あか牛が歩く草原の生態系の豊かさを維持することで、どれだけ多くの人々の生活が守られるか」を、農家の営みの「社会・経済的な恩恵」として可視化し、阿蘇の自然資本を次世代へ継承する大きな力に変えていきます。

5. 地域の知恵と最新技術で「南阿蘇村モデル」を届ける

体にやさしい農業や、持続可能な村づくりを生物多様性・自然資本という観点から科学的に裏付け、地域住民と共有し、子どもたちにも学びの場を広げます。住民・企業・大学・村が手を取り合い、千年の知恵とデータに基づいた最新技術をかけ合わせることで、世界に誇れる「南阿蘇村モデル」を力強く発信します。

自然は、先人から受け継いだ宝物です。私たちは、南阿蘇村の誇りである自然を、今日よりも豊かな状態で未来へ手渡すことを、ここに誓います。

熊本県阿蘇郡南阿蘇村
令和8年5月27日

宣言書署名

太田 吉浩